

パッション	環境づくり	福祉 × 自分	福祉デザイン	共事者とは	ともに語る
					
司会 京都福祉サービス協会 修徳 施設長 森 賢一	ゲスト 山科醍醐こどものひろば 相談役 村井 琢哉	ホスト 京都福祉サービス協会 地域共生社会推進センター代表 河本 歩美	ゲスト 合同会社 オフィスキャンブ クリエイティブディレクター 坂本 大祐	ゲスト 地域活動家 小松 理虔	司会 京都福祉サービス協会 経営企画室総務部 勝田 五月

第0回

2024年12月7日（土）13:00~
京都経済センター2階 京都産業会館ホール


←当日の様子をしてみる

京都地域共生社会推進フォーラム

フォーラムには、福祉関係者、民間企業、学生の方など、法人内外から143名の参加がありました「地域共生社会」への関心の高さを知ることができました。ホストの河本代表とゲストスピーカーのトークセッションは、従来の福祉の枠組みを軽やかに超えていく内容が盛りだくさん。参加者は熱心に耳を傾けていました。後半は参加者によるグループワークを行いました。

法人外の参加者と法人職員が混ざり合い「専門職もそうでない人も、一緒に実践することが大切」「地域にひらかれた施設とは」など、これからの福祉について対話しました。京都で地域共生社会をテーマに、多様な人々がつながるきっかけとなるよう、第0(ゼロ)回として開催したフォーラム。次年度も更に発展させて開催予定です。

協会内外が混ざり合って対話する	入りやすい事業所にするには？	多くのアイデアにワクワクした	小さなことから、まず始めてみる
			

P.1 [トピック] 第0回 京都地域共生社会 推進フォーラム	P.2 [特集] 2030VISION構想プロジェクト ・CREATIVE TEAM通信 ・札幌市、横浜市人事交流	P.3 	P.4 ・下坂日記 #18 ・福祉教育（小学校総合学習） ・京都市介護職員等永年勤続表彰式 ・たこ焼きタウンミーティング ・よこ糸カフェ（Cブロック主催）
---	--	---------	--

2030VISION構想プロジェクト

「私たちの声を聞いてほしい」これまで届かなかった想いが持ち寄られました。そして、異なる事業所や異なる職種の職員の想いも、お互いに十分には知らないことにも気づかされました。様々な立場を越えた対話を重ねるほどに、目の前の課題に埋もれてしまった一人ひとりの想いが引き出されていきました。これからの私たちにとって、対話の重要性を再認識する機会となりました。



#サービスの質をもっと
高めていかなければ



#踏み込んだ支援ができない
もどかしさがある



#職員が「働きたい」と
思える魅力ある法人を目指したい



#少数の職種の意見も
吸い上げる環境に



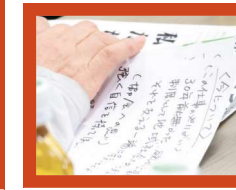
#仲間づくり、職員・拠点間の
繋がり的重要性を再認識



#「対話」の時間をもっと持ちたい



#リスク管理重視の影響を考える



ワークショップ(1)

対話セッション

地域共生社会 推進フォーラム

VISIONとは何か、レクチャーを受け
参加者が考えるワークショップ

VISIONのたねを見つけるために、
日ごろの想いを自由に対話する時間

福祉関係者、その他の方も、
会場全体で「地域共生社会」を語る

ワークショップ(2)

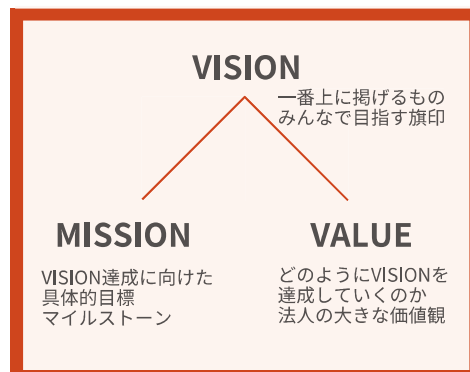
対話キャラバン

VISION

VISIONとは何か、レクチャーを受け
参加者が考えるワークショップ

理事などが各拠点に出向き
職員の生の声を集める取り組み

私たちが目指したい協会



#話すことで気持ちが楽になった



#アイデアを
「受け入れる」組織であってほしい



#他拠点と協働して
何ができるのかを考えてみたい



#立場が異なる職員同士の
話を聞いたことも今回の収穫



#風通しの良い組織とは

CREATIVE TEAM 通信



小松さん

いよいよVISIONが走り出す リスタートの1年に

明けましておめでとうございます。VISION構想プロジェクト・クリエイティブチームの小松です。昨年行われたワークショップや共生フォーラムでは、VISIONの種になる言葉がたくさん見つかりました。4月からの新年度を見据え、いよいよ新しいVISIONを決めていくプロセスに入ります。協会で働くことがさらに魅力的で刺激的になるよう、私たちも全力を尽くします！

地域活動家 ライター
小松 理虔



坂本さん

佐藤さん

高田さん

今津さん

札幌市・横浜市 人事交流

コロナ禍を経て 人事交流を再開しています

「プロジェクトは法人もご利用者にとってもwin-winとなる取組みだと思う。働きたい魅力ある法人・職場づくりは私たちも課題だが、京都福祉サービス協会は何歩も先を行っていると感じる」

「皆さんの真剣さが伝わるプロジェクト。地域共生社会の推進と魅力ある法人づくりは強く結びついていると思う」



札幌市社会福祉協議会・横浜市福祉サービス協会の皆さん



11月に茨城県にある『つくば美術館』で写真展を開催しました。秋葉原駅からつくばエクスプレスに乗って、終点のつくば駅までおよそ50分程。

車窓から景色を眺めていると、京都だと山に囲まれているので、どこかしら山林が視界に入ってくるのですが、山が全然見えない平野独特の景色が私には新鮮でした。

つくば美術館でのギャラリートークと会場を変えて講演をさせていただき、認知症について沢山のひとと話ができました。認知症のイメージが変わったと感想をもらえてよかったです。



社会福祉活動団体「R PEACE HAIBISCA」アールピース ハイビスカ代表、達郎シェフのイベント『幸せの料理教室』を撮影させていただきました。

料理をつくるのが活動の主旨じゃない、障害者も健常者も枠でくくらず、人と人を繋げることだと達郎シェフ。手を取り合って相手のことを理解し合う、尊敬し合う、認め合うことが大事だよとイベントの初めにみんなで輪になって手を繋ぐ。小さな子供から大人までみんなで楽しく料理をつくって、美味しくいただきました。料理を通じて人と人を繋げる素敵なイベントでした。

子どもにもっと伝えたい「ふくし」

地域の小学校でもっと福祉の魅力を伝えたい。そんな朱雀事務所の訪問介護職員の声からはじまった福祉教育です。西院デイ、本能デイのご利用者と共に教室でお話する会、「ヘルパー訪問のとある一日」の劇。



やりすぎるくらいに愉快に、でも真剣に「ふだんの、くらしの、しあわせ」を子どもたちと考える機会づくりに挑戦しました。

11月・12月 京都市立 朱雀第一小学校・朱雀第二小学校

子どもたちからの質問は止まらず、「いつもより目が輝やいていた！（先生談）」ほど熱心に参加。

地域には色んな人が暮らしていて、それぞれのしあわせを毎日支えている、それは私たちの仕事の魅力です。面白く伝わっていい。これからも従来の福祉教育の枠を超えて、法人のみんなで、若い人たちに伝えていきましょう！



京都市介護職員等永年勤続表彰式

11月22日 京都市役所



西七条 岩崎由依さん

永年勤続表彰式が市役所「正庁の間」にて行われ、法人内対象者60名の代表として西七条の岩崎さんが出席しました。表彰者は市長から直接表彰状を手渡され、岩崎さんは緊張しながらも「介護職のやりがいについて これからも職場のメンバーに伝えていきたい」と抱負を語られました。

たこ焼きタウンミーティング

11月30日 山科区西野山団地

多くの人を巻き込みながらの活動は、なんだか成長期を迎えています。団地住民、団地周辺住民や大学生、応援したい人や自分の地域も何とかしたいと思う人。240名以上が集う、賑やかな団地の一日でした。

よこ糸カフェ [Cブロック主催]

11月27日 明德児童館

岩倉に和太鼓の太く力強い音が響き渡りました。40名を超える職員が集まり、終始笑顔が絶えることなく和太鼓体験し「またやりたい！」と声があがりました。

Associé編集後記 表紙右上のイラストは「たこ焼き」。

N子ちゃんはすっかり真冬衣装です。この表情をとらえるのに苦労しました。通知に「いいね！」するとレベルアップしますよ。(N) Oasisの東京公演、抽選外れました。年が明け今年の夏フェスのヘッドライナーが気になります。(A)

